

# ドライバーの感性を重視したドライビングシミュレータ システム設計ポイント

(協賛予定) 公益社団法人自動車技術会 一般社団法人日本機械学会 一般社団法人人間工学会

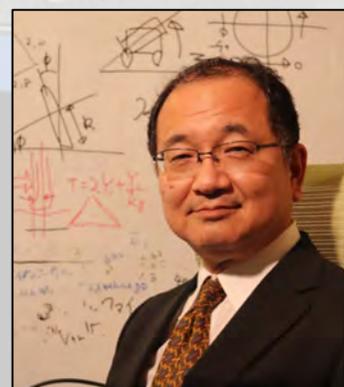
開催日時：2025年1月21日(火) 13:30～16:30

場所：津田沼校舎38号館201教室 (千葉県習志野市泉町1-2-1)

開催形式：ハイブリッド開催 (対面・Zoom)

講師：**大貫正明**

自動車工学リサーチ・センター客員研究員



1986年三菱プレジジョン株式会社入社。防衛関連シミュレータシステム設計業務から1990年ごろ民需関連シミュレータシステム業務、1990年後半から研究用ドライビングシミュレータ設計業務を担当し、2022年退職。  
現在、日本大学生産工学部自動車工学リサーチ・センター客員研究員、東京大学生産技術研究所学術専門職員、産業技術総合研究所テクニカルスタッフ、芝浦工業大学工学部機能工学科リサーチアシスタント

## 【講習内容の概要】

研究用途で用いるドライビングシミュレータ (研究用DSという) は、自動車のドライバー特性などの実験装置として、自動車メーカ、大学、研究所で使われています。安全、正確、効率的に同一条件化で生体、操作データを取得できる利点、1つのパラメータを変更することによって、ドライバーへの影響度を計測できる強みなど、実験装置としての有効性が知られています。

その一方で、実車両と研究用DSとの運転感覚の乖離のみならず、加速度感、映像分解能/更新等々の違いによって、ドライバーが酔い (シミュレータ酔い) を感じてしまい、運転を中断しなくてはならないなどの欠点もあります。今回の講演では、私の経験談も踏まえ、研究用DSという実験装置に関するシステム設計の考え方について解説いたします。

【募集定員】 対面は先着20名まで、オンライン参加は40名程度

【受講料】 一般参加者 15,000円

協賛学会員 (自動車技術会等) 12,000円

NU-CAR賛助会員 (1口3名様まで無料)

【申込期限】 2025年1月17日 (金)

【申込方法】 <https://forms.office.com/r/k0BFAwb8nc>

【問合せ先】 自動車工学リサーチ・センター 長峯、山本

047-474-3188 cit.nu-car.info@nihon-u.ac.jp

